

令和6年度 鳥取県文化芸術活動支援事業補助金 助成事業
【優れた文化芸術活動支援事業】

事業名	4.3 Art Project～逆走して歴史と出会う～プレゼンテーション大阪編
日にち	令和6年5月25日(土)
会場	大阪コリアタウン歴史資料館(大阪府)
実施者(団体)	4.3 Art Project 実行委員会
補助金額	300千円

令和7年から令和9年にかけて実施を計画している、日本と濟州島4.3事件との関係をテーマとしたアートプロジェクトのプレ事業として、企画への理解や賛同を深めるために、在日コリアン(濟州島出身者)が多く住む大阪市生野区で、関西圏を中心とした在日の方や美術関係者に向けたプレゼンテーションを実施した。

会場では、プロジェクトで実際に使うボトルメッセージやテキスト、作品模型やイメージドローイングを展示するとともに、関連の写真やテキストをプロジェクターで投影しながら概要を説明し、その後、参加者とのディスカッションを行った。

プロジェクトに対してどのような理解、反応があるかを把握し、企画の構想をより具体的に考察、具現化していくことにつなげるとともに、在日コリアン関係者や濟州島在住の研究者、美術関係者等との交流を通じ、一緒にプロジェクトを進めていく協力者との出会いや関係性を深める機会となった。



令和6年度 鳥取県文化芸術活動支援事業補助金 助成事業
【優れた文化芸術活動支援事業】

事業名	平井知行 「在る……在る？」展
日にち	令和6年4月26日(金) ~5月12日(日)
会場	ギャラリー330 (鳥取市)
実施者(団体)	平井 知行 氏
補助金額	159千円

地元鳥取をはじめ、東京やニューヨークなどでの個展の開催、アートフェアへの出品など、国内外で精力的に作品発表を行っている平井知行氏による個展。平井氏は34歳頃から絵画制作を始め、より根源的なテーマに目を向けながら独自の表現の追及を行っており、会場には心の内面をテーマにした2~100号までの抽象画作品が56点展示された。

作品を観賞した来場者からは、「強力なパワーをもらった」「別世界に入り込んだよう」などといった感想があった。



令和6年度 鳥取県文化芸術活動支援事業補助金 助成事業
【優れた文化芸術活動支援事業】

事業名	劇団星のふる町 演劇公演「セロ弾きのゴーシュ」
日時	令和6年10月13日(日) 開演 19:00(通常上演) 14日(月・祝) 開演 11:00(おやこ向け上演)/15:00(字幕付き上演)
会場	倉吉交流プラザ視聴覚ホール
実施者(団体)	劇団星のふる町
補助金額	110 千円

劇団星のふる町は、鳥取県の中部地区を中心に、音楽劇や朗読劇などの公演活動を行っている団体であり、今回の公演では初めての自主公演として、演劇作品の上演を行った。

本公演では、劇中音楽を県内の作曲家に依頼し、オリジナルの楽曲を制作したほか、「インクルーブルシアター」の考えに基づき、年齢・障がいの有無にかかわらず楽しめる演劇公演を行うことを目的に、公演は回ごとに「通常公演」「おやこ向け公演」「字幕付き上演」とし、おやこ向け公演では、上演前に演劇鑑賞時のマナー説明や、親子連れに配慮した会場の雰囲気づくりを行うなど、創造性・独自性のある取り組みを行った。

当日は、県内外から200名の来場があった。来場者の多数は、これまでに劇団星のふる町の作品を観たことのない方であったが、アンケートでは公演内容では「とても良かった」「良かった」との回答が8割近くを占めるとともに、「久しぶりに演劇を見て、表情や音の響き方とか面白くて、見入った」、「親子でみられて、とてもいい体験だった。またいろんな演劇をみてみたい」といった感想があった。



令和6年度 鳥取県文化芸術活動支援事業補助金 助成事業
【優れた文化芸術活動支援事業】

事業名	牟禮朱美写真展「さなぎの中はだれも知らない」
日にち	令和6年9月13日(金)から26日(木)
会場	ソニーイメージングギャラリー銀座(東京都)
実施者(団体)	牟禮 朱美 氏
補助金額	300千円

境港市在住の写真家・牟禮朱美氏による19年ぶりの東京での個展。作品は、鳥取県内の10代の学生を被写体として撮影されたもので、ラベリングされた青春像ではなく、彼らを「観察すること」から生まれた思春期の姿を作品群として展示した。

展示会場は写真作品 28 点のほか、映像や立体の展示物を交えながら、物語を読んだかのような世界観に浸れるストーリーテリングの手法で演出され、鑑賞者からは、「思春期の少女とかつての自分との重ね方が、伝統的な制服とマッチして、タイムスリップしているようで不思議な写真。」「写真に収められたそれぞれの背景に想像の翼を広げたくなるような作品展だった」などの声があった。

会期中には、現地の在住者だけでなく米子から訪れたファンや美術界の関係者などが訪れ、約 4,500 人が個展を観賞した。また、本個展に合わせ、初のオリジナル写真集も制作された。



令和6年度 鳥取県文化芸術活動支援事業補助金 助成事業
【優れた文化芸術活動支援事業】

事業名	(公社)日本バレエ協会山陰支部 バレエコンサート
日時	令和6年12月15日(日) 午後1時30分開演
会場	とりぎん文化会館 梨花ホール
実施者(団体)	(公社)日本バレエ協会山陰支部
補助金額	476千円

バレエ文化の普及、及び人材育成を目的とし、(公社)日本バレエ協会山陰支部による初めての試みとして、山陰両県合同によるバレエコンサートを開催した。本公演には、同団体が行っている山陰バレエコンクールの上位入賞者や、山陰両県でバレエを学ぶ子どもたち、海外留学中の県内出身の高校生、地元でバレエ文化の振興や若手ダンサーの育成を行っている指導者や振付家など、総勢110名が参加者した。また、コンクール入賞者によるエキシビションのほか、各地域の指導者・振付師が一丸となって構成した古典やコンテンポラリーなどの多様な作品が上演された。

来場者からは、「演出もよく、とても感動した。初めてバレエを鑑賞したが、また鑑賞したいと思った。」「ラジオ体操からインスピレーションを得た作品が馴染み深く、今まで見てきたコンテンポラリーダンスの中で、初めて意味が分かる作品だった」などの感想があり、山陰両県のバレエ活動を多くの人に知ってもらい、その魅力を伝える機会となった。

